

老いの日をいかに生き、支えるか

第1回

多くの人が高齢まで生きることができるようになりました。しかし加齢と共に病いを得て、高額医療を必要としたり、体力や、認知能力の衰えのために、誰かの助けを必要とすることも多くなります。多くの人が、老いの日をいかに生き、いかに支えるかについて不安を覚えています。生涯の終わりに至るまで希望を持って生きるにはどうしたらよいかを、高齢期を迎えている方、高齢者の家族、隣人、介護、看護、医療に当たっている人、精神的支えを与える牧師や僧侶などが集い、共に考え合いたいと思います。

2018年 2月 3日(土) 13:30 ~ 16:30

発題1 創られ、ゆるされ、希望を与えられ、老いを生きつつ、老いを支える



奈倉 道隆 (介護福祉士、老年科医師)

- ① 宗教(キリスト教・仏教)を鏡として、真の自己を映し出し、究極の希望を仰いで高齢期の生活と生活支援を進めたい。
- ② 老化の本質を知り、老化によって移り変わる心身の現状と将来を見つめて、活動力・適応力・予備力・防衛力・回復力などの縮小に対応する積極的な生活を探求したい。
- ③ 精神は深化する面があり、一生涯活動を続けたい。認知症が改善する例も少ない。
- ④ 老いの死は安らかであり、医療でなく心・生活の支援の看取りを家族と共にしたい。
- ⑤ 医療・リハビリ・介護・カウンセリングなどの特質を生かして、連携を深めたい。

発題2 地域に生きる“ビハーラ”をめざして:思いやりとおかげさまの心をもって



大橋 紀恵 (法燈山安明寺坊守、看護師、保健師)

寺院が生活の場となってから、私は地域の中での寺院の役割について、そしてそこで私は何をなすべきかを考えるようになりました。母の急死を縁に僧侶の資格を得、その時“ビハーラ”のことを知りました。

“ビハーラ”とは何?と模索しながら歩んできた過程で出会った人や義父母の在宅での看とりを通して学んだこと、そして10年前に開設した「安明寺ビハーラの家」の「親子広場ドレミファごんちゃん」での活動から得たことなどお話をできたらと考えています。そこからこれからの人生をどう歩んでゆくかを皆さまといっしょに考えてみたいと思います。

場 所 関西セミナーハウス TEL075-711-2115

※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 1,000円 (コーヒー込み)

要申込み 1月31日までに Fax(裏面)、電話、
電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。

◎スケジュール◎

13:30~14:15	講演・発題1
14:15~15:00	講演・発題2
15:00~15:20	コーヒーブレイク
15:20~16:20	質疑とはなしあい
16:20~16:30	まとめとアンケート記入

奈倉 道隆 ながら みちたか

1934年7月生まれ。1960年京都大学医学部卒業。学位取得。公衆衛生学教室・老年医学教室勤務。京都大学病院老年科に医師として勤務。大阪府立大学社会福祉学部創設のため勤務。龍谷大学社会学部創設のため勤務。東海学園大学人文学部創設のため勤務。四天王寺国際仏教大学人間福祉研究科創設のため勤務。聖隷クリストファー大学社会福祉研究科介護福祉学専攻創設のため勤務。2014年退職、現在ボランティア活動に従事。

大橋 紀恵 おおはし のりえ

1942年生まれ。聖路加短期大学専攻科卒業。看護師、保健師、助産婦の資格取得、国立京都病院看護師、京都市立看護短期大学専任教員、奈良文化女子短大講師、四天王寺国際仏教大学講師、宮崎県立看護大学講師などを歴任。現在安明寺坊守として、地域の福祉施設のボランティア活動に従事。

2017年度 修学院フォーラム

いのち 第2回 2018年3月4日（日）

「いのちとさんび」 演奏とお話：菅野 万利子（ピアニスト）

社会 第4回 2018年1月7日（日）～8日（月・祝）〈エネルギーを考える第6回〉

「原発との共存は可能か？～フクシマからの問い～」

「原発過酷事故を防げるか」 講師：吉岡 斉（九州大学教授、福島原発事故政府事故調委員）

「原発災害を通して見る現代科学技術の倫理問題」

講師：島 蘭 進（上智大学神学部教授・グリーンケア研究所所長）

第5回 2018年2月17日（土）

「キリスト教徒は激動する国際情勢をどう見るかー米朝関係を中心に」

講師：佐藤 優（作家・元外務省主任分析官）



福祉 第2回 2018年2月10日（土）【共催／会場 京都YWCA】

「児童虐待防止のために私たちができること～最前線の実情を通して考える～」

講師：津崎 哲郎（NPO法人児童虐待防止協会理事長）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所 長 榎本 栄次

担 当 都木かおり

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2017年度 修学院フォーラム「いのち」第1回 参加申込書—————

(フリガナ)	
名 前	所 属
住 所 〒	
電話 () - FAX () - 携帯 ()	
電子メール :	@
通信欄 :	